

Q-TOF 型質量分析計「LCMS-9030」と

気相ラジカル誘起解離を用いた分子構造解析

島津製作所 高橋秀典

要旨：

質量分析計による分子構造解析には、コリジョンガスを用いた衝突誘起解離法が頻用されるが、島津製作所では原子状水素/酸素などのラジカルガスを用いた独自のイオン解離法を開発してきた。本手法により、これまで困難であった二重結合位置異性体などの構造解析と識別が可能になる。本セミナーでは、この新しい解離法の原理と生体試料の構造分析例についてご紹介する。

